

病院の中にいてさえ、その自然喚起の空気の流れに体温が低下してしまい、恒温を維持できない。3月から4月の私はそんな最悪状態でした。だから、あの4月9日に、新任式で壇上に上がって挨拶をすることさえままならないことでした。

体温を少しでも落とさないようにするため、登山用ジャケットをかぶってじっとうずくまっているしかない。何もできない自分。

しかし、できる・できないに関係なく、そこに生きていることで《出会い》を与えられ、その《出会い》によって、それまでどうしても見えなかったものが見えるようになる。

TさんやKさんとの《出会い》をいただいたことで、このことを実感したのです。

※ ※ ※

こうしてまだ体調がすぐれない私が、次に出会いをいただいたのが、皆さんです。

この現場では、さまざまな試練が降りかかってきました。病気の苦しさ以上にイヤな苦しいものもありました。

もしも、皆さんがいなかったら、私はとくに倒れていたかもしれません。

4月当初、率直に自分の弱いところをすべて語った私を、皆さんは温かく受け止めてくれたのでした。

そして、その後もずっと心の絆を結んでくれていましたね。ありがとう。

ある人の感想シートを紹介します。

6月12日の感想シートより

今日の数学は(久)だった。でも、しっかりできた!!汗

今日もいつもちゃけど先生は、きずかってってくれていると思う。元気なくても、(なんか先生にはバレちゃってるみたい)

本間数学 TK 先生のクラスでよいねえ♡♡

あの日のあなたは、なにか悩み事があるようでしたね。何かあったのかな?と、私は心配しながら授業をしていました。黒板で進めながらも、チラッチラッとあなたを見ていました。そんな私の気持ちがあなたに伝わっていたのですね。

この文章を読んだとき、あの日ずっと元気がなくてうつむいていることの多かったあなたを思い出しました。そして、私の気持ちをしっかり受け止めてくれていることを知り、あなたの繊細な優しさを感じたのです。

※ ※ ※

1学期、まだあと5回ほど授業はあるね。ありがたいです。でも、2学期になったら、少人数学級はまたかわるんでしょ? そうすると、前回のTさんのことと同じように、約半数の人とは、これがまだ長い私の人生の中での、貴重なたった数回の授業ということになります。貴重な出会いに感謝しつつ…。

次回はまた、皆さんの感想を紹介します。

※ ※ ※

闘病生活中、読んで感動して泣いた本

『思い出のマーニー』 ←おすすめです!

(ジョン・ロビンソン著 岩波少年少女文庫)

思い出のマーニー



思い出のマーニー

